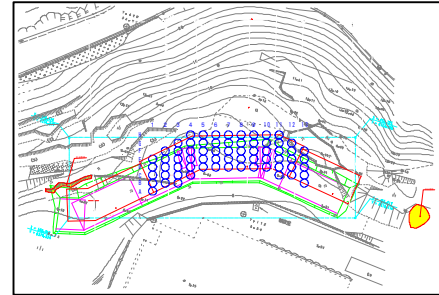


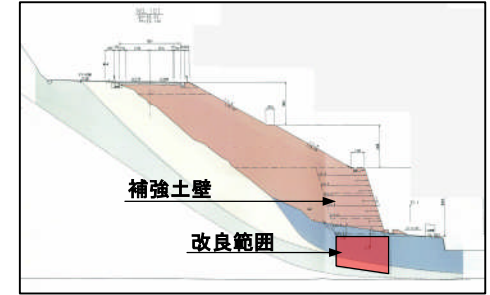
GTM工法施工報告

報告No.	No.	参考資料
補強土壁の安定対策工		
企業者・工事名 施工場所・工期	企業者	長崎県大瀬戸土木事務所
	工事名	主要地方道崎戸大島線道路改良工事
	工事場所	長崎県西海市崎戸町
	工期	平成19年8月～10月
使用用途・工法 施工数量・施工仕様 使用機械・対象地盤	工法	GTM工法 (TRIPLE)
	使用用途	補強土壁工の安定対策
	施工数量	施工本数: N=65本 改良径: ϕ 1500
		削孔長: L=3.46m/本 改良長: L=1.98m/本
	施工仕様	プレカット: 吐出量132L/分 圧力30Mpa エア一量6m ³ 引上速度 2分31秒/m
		造 成: 吐出量124L/分 圧力40Mpa エア一量6m ³ 引上速度 10分59秒/m
使用機械	削孔・造成機: SM-103 超高压ポンプ: リゲル150	
対象地盤	礫・転石混じり土 (N値3～32程度)	
工事の特徴	<p>本工事は、道路改良に伴う補強土壁の安定対策として、GTM工法を施工したものである。</p> <p>当初は、深層混合処理工法の機械攪拌(スラリー攪拌)にて計画がなされていたが、試掘による事前調査を実施した結果、当該地区には多数の転石が混在していることが判明した。その為、機械攪拌工法では十分な改良が不可能と判断され、検討の結果、GTM工法の採用となった。</p> <p>施工仕様は、対象地盤が礫・転石混じり土であることを考慮し、20%減径のϕ 1500mmで改良体造成径を設定し、清水・空気・硬化材噴射系のTRIPLE FLUIDにて施工を行った。</p> <p>また、プレカットにおいては土質条件(礫・転石障害)により前進プレカットでは困難と判断されたため、引上プレカットにて施工を行った。</p>	
長所	<p>プレカット工程(超高压水+圧縮空気)により、改良対象ゾーンが十分に緩み、造成工程(超高压硬化材+圧縮空気)において硬化材と土砂が効率良く攪拌混合され、礫・転石混じり層においても、十分な改良径が確保できる。</p>	
留意事項	<p>礫・転石の混入が多い土質においては、試験施工により改良体造成径の事前確認が必要。</p>	
備考		

施工平面図



施工断面図



施工前全景



施工状況



清水噴射状況



杭頭状況

